

利賀っ子だより



R4. 2. 24

○ 自分の役割を果たす



【鼓笛演奏の練習を見守るMさん】

左の写真は、鼓笛演奏の練習の様子です。例年、卒業おめでとう集会や小中合同の運動会の開会式で演奏の機会があります。1月に楽器の引継ぎをして、音楽の時間や休み時間に練習を重ねています。

6年生のMさんは、卒業するので今回の鼓笛隊のメンバーには入らないこととなります。しかし、毎回練習に参加し、楽譜を見ながら演奏を聴き、よかったところ、もう少し直したらよいところ等のアドバイスをしています。5年生は、時々Mさんに視線を送り、確認している様子も見られます。

自分ができることを考え、役割を果たそうとするMさん。下学年もこの姿を見て、自分の役割を果たすことについて学んでほしいと思っています。

○ 一人一台タブレット

掃除のない昼休み、4年生の子供が2人がそれぞれ自分のタブレットを見て、楽しそうに相談していました。近づいて行くと、「校長先生もやってみて。」と声をかけられました。自分でプログラムを考えて、宝探しのゲームを作ったというのです。

森の中の様子のイラストに図形がいくつかあり、そこをクリックして、当たれば動物が現れ、外れれば、「いないよ」と文字が出てくるゲームでした。

出てくる動物の場所、大きさ、速度、向きなども自由に変わることが

できると目の前で、あっという間に変えていました。子供たちの能力に驚くばかりでした。

また、別の教室では、1年生のIさんがローマ字表を見ながら、ローマ字入力で「レゴの歴史」について調べていました。3年生でローマ字の学習をするのですが、Iさんは「自分もローマ字で速く打てるようになりたいから」と担任の先生にローマ字表をもらったのでそれを見てやってみているとのことでした。

先生の指示に従って使うだけでなく、約束を守って自由に使うことができる環境があることで、試行錯誤しながら力を付けていくということを目の当たりにしました。
(高田 公美)



【タブレットを扱う4年生】



【ローマ字入力に挑戦する1年生】